

「心に残る文化財子ども塾」 学習指導案

実施日時：令和4年6月29日（水）10時45分～12時15分 90分

実施校：県立出雲養護学校大田分教室中学部1～3年生 9名

指導者：教員（杉山亜弥、岩谷美穂、佐々木翼）

県文化財課世界遺産室 渡部麻生

1. 主題 土笛をつくって古代人の生活に触れてみよう

2. ねらい

○出土品（土笛）を実際に見ることで、古代の人の信仰について知る。

○土笛作りをとおして、古代の人の技術や知恵や工夫に気づく。

○古代衣装を着ることで、古代の人を身近に感じる。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援	担当
10:45 (5分)	(1)オリエンテーションおよび講師紹介	見通しを持って学習できるように、学習の流れと講師の紹介をする。	教員
10:50 (20分)	(2)土笛作り① ・形を作る ・指穴の印をつける ・切断する ・乾かす ※ドライヤー使用	土笛の作り方を、指導者が実演しながら説明する。 きれいな形になるよう、力が必要な場合は個別に手助けする。	世界遺産室職員 教員
11:10 (10分)	(3)土笛について学ぶ	出土品やパネルを使い土笛が古代の人にとってどのようなものなのかを知る。 ※座学中は、ドライヤーで粘土表面を乾かす	世界遺産室職員 教員3名
11:20 (40分)	(4)土笛作り② ・くり抜く ・指穴をあける ・貼り合わせる ・指穴や表面を調整する	くり抜く際は形が崩れないよう注意する。 貼り合わせる際は水を付けすぎないように注意する。	世界遺産室職員 教員
12:00 (15分)	(4)古代衣装を着る (5)学習のまとめ	古代の人を身近に感じられるよう、どんな服をきていたのか想像してもらおう。	
12:15	終了		

4. 準備物

【学校】ドライヤー、延長コード（ドライヤー2台）、CDプレイヤーかパソコン（土笛のCDを流します）、新聞紙、絵の具バケツ（水を入れる用）、汚れても良い服（生徒）、タオル・ぞうきん、出土品を載せる長机1台、カメラ

【世界遺産室】出土品、パネル、体験道具（粘土板、ヘラ、テグス、スプーン、ドライヤー4台）、CD、カメラ、アンケート